

1. 授業の概要(ねらい)

私たちは「大学」の中で学生や教員という社会的役割を担っている。学生の中には日本の現在の大学の姿を見て、他の国あるいは他の時代の大学もだいたい同じではないか、と思っている学生もいるかもしれないが、実際は必ずしもそうではない。大学は中世ヨーロッパに誕生し、歴史的にも地域によってもさまざまな形を取っている。そこで前期は、大学について書かれた新書本をテキストとして、各自が分担して、レジュメ(要約)を作成・報告し、ディスカッションを行う。本書は社会学者である著者が、メディア研究の視点も生かして大学について論じたものであり、大学について一緒に考えていく。

また、授業ではグループワークの練習も行う予定である。

2. 授業の到達目標

自分の頭で考える能力を身につけることを目標にする。

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加度合い(50%)、学期末レポート(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

吉見俊哉 『大学とは何か』2011 岩波新書

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を事前学習すること。

6. その他履修上の注意事項

欠席しないこと。

授業への参加が前提である。

質問・コメントする等の参加が望ましい。

7. 授業内容

【第1回】	イントロダクション
【第2回】	報告の分担決め
【第3回】	報告と討論(1)
【第4回】	報告と討論(2)
【第5回】	報告と討論(3)
【第6回】	報告と討論(4)
【第7回】	報告と討論(5)
【第8回】	報告と討論(6)
【第9回】	報告と討論(7)
【第10回】	報告と討論(8)
【第11回】	報告と討論(9)
【第12回】	報告と討論(10)
【第13回】	報告と討論(11)
【第14回】	報告と討論(12)
【第15回】	授業のまとめ